

4コマまんがは発信源

中西一彦

大阪教育大学教育学部附属天王寺中学校教諭

第1学年 4コマ復元パズルで養う構成力

1 新聞活用のねらい

4コマまんがは、基本的には「起承転結」で構成されている。1コマごとの絵を読むことで、状況や背景などの輪郭を視覚的に把握し、ふきだしの言葉を読むことで展開を的確に理解するという形式になっている。堅いあるいは心穏やかならぬ記事の一角に位置する4コマまんがは、何かしら心和ませるオアシスの存在である。4コマまんがを利用することで新聞に親しみをもたせ、構成力を図る。

2 学習指導要領との関連

- ◎第1学年「C読むこと」の(1)の工 ……文章の展開を確かめながら主題を考えたり要旨をとらえたりすること。
- 第1学年「B書くこと」の(1)のイ ……伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。
- 第1学年「A話すこと・聞くこと」の(1)のア ……自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。

3 学習計画と指導のポイント

- ①4コマまんがを1コマずつに分けて切り張りしたものをも復元する
 - 数点の作品を用意し、それぞれのふきだしを消してバラバラにしたものを配布し、まず絵だけで復元させる。 **資料①**
 - 3コマのまんがを入れておくと、構成の違いに気づかせることができる。
 - 結果としてコラージュ4コマになってもかまわないことをあらかじめ伝えておき、思いどおりに作業させる。
 - できあがった4コマまんがを持ち寄り、順番の違いなどの情報交換を行わせる。
 - できるだけ読んだことのない4コマまんがを準備し、興味をもたせるよう心がける。
- ②自分なりに復元した4コマまんがのふきだしを創作する
 - 復元作業の際、頭のなかで各自ストーリーを書かせ、その時浮かんだものをメモにして残すよう指示しておく。
 - ふきだしは簡潔な言葉で書かれていることを理解させる。
 - 「起承転結」の構成を意識させるとともに、いわゆる「オチ」がつくように創作させる。 **資料②**
- ③もとの4コマまんがと比較する
 - 自分の考えた構成との違いの有無を確認させる。 **資料③**
 - 創作したふきだしと、もとのふきだしの「オチ」の違いに着目させる。
 - 4コマまんがの定義を今回の作業を通してまとめさせる。

4 評価

- パズル解きをするかのように楽しみながら4コマまんがを復元できたか。
- 自分なりのストーリーを簡潔なふきだしに表現できたか。
- 4コマまんがについての定義を作成することができたか。

第2学年 同じ話題の4コマまんが比較

1 新聞活用のねらい

同じ話題であっても作者の視点によって、その取りあげ方は全く異なり、時には正反対の印象を与えることもある。それは、作者の問題意識がそのまま作品に反映するからである。生徒には、それをうのみにするのではなく、自分のフィルターをとおして、あくまでも能動的にとらえさせたい。作品を比較して読み味わせることで、話題をとらえる目を養わせる。

2 学習指導要領との関連

- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のオ……目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。
- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のエ……文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)のイ……自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。
- 第2学年及び第3学年「A話すこと・聞くこと」の(1)のエ…相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。

3 学習計画と指導のポイント

- ①同じ話題の4コマまんがを読み、比較する
 - 同じ話題であってもその扱い方によって、おもしろさがどう変わってくるかを比較させる。
 - 最もおもしろいと感じられた作品を1点選ばせ、タイトルを考えさせる。**資料①**
 - そのおもしろさをほかの人に伝えるためのメモを作成させる。
- ②グループで意見交換を行い、おもしろ度ナンバーワン作品を決定する
 - 四人一組のグループをつくり、司会役、記録役、発表役、口火を切る役をそれぞれ決め、話し合わせる。
 - まず、なぜ最もおもしろいと感じたのかから話し合わせる。
 - 司会役には、多数決で決めずに、少数意見も尊重した話し合いになるよう進めさせ、グループ内ナンバーワン作品を決定させる。
- ③ナンバーワン作品を選んだ際の理由を再度整理し、グループごとに「おもしろい4コマまんが」の定義をまとめる
 - 「おもしろさは人によって感じ方、とらえ方が違う」ことは、ナンバーワン作品決定の際の話し合いで理解したはずである。その違いのなかから見つけ出せる共通点について話し合わせる。
 - 見つけ出した共通点をグループごとに「おもしろい4コマまんがとは？」をまとめさせる。**資料②**
 - ナンバーワン作品とともに、その定義を発表役に紹介させる。

4 評価

- 自分の観点をもって、「おもしろい4コマまんが」を選ぶことができたか。
- 話し合いのなかで自分に与えられた役割を果たしながら、話し合いを進めることができたか。
- 「おもしろい4コマまんが」の定義をグループでまとめることができたか。

総合的な学習の時間

ワンポイントアドバイス



- ▶「総合的な学習の時間」においても、話し合いが基本的な活動のひとつになる。情報のとらえ方の相違点を明らかにしながら、課題を明確にしていくことが重要である。

資料① 生徒の作品

毎日 1999年7月31日(土)

乗る

アサッテ君
東海林さだあ (8575)



毎日 1999年9月5日(日)

心配で

アサッテ君
東海林さだあ (8594)



毎日 1999年9月16日(木)

そこまでする?!

アサッテ君
東海林さだあ (8604)



毎日 1999年9月28日(火)

髪の毛

アサッテ君
東海林さだあ (8616)



読売 1999年7月15日(水)

背のび

コボちゃん
植田ましろ 6130



読売 1999年9月12日(月)

若い人

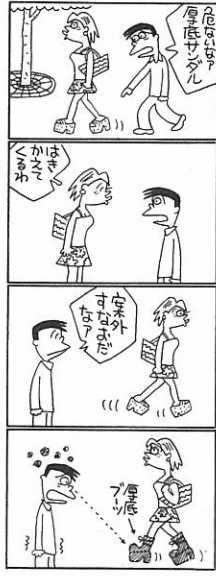
コボちゃん
植田ましろ 6188



読売 1999年9月16日(木)

いまどきの娘

サンフリ君
鈴木義司 9824



産経 1999年9月21日(火)

本末転倒

坊っちゃん
西村宗



資料② おもしろい4コマまんがとは?

- 起承転結がはっきりしていて難しくなく、分かりやすい。意表をつくオチや人物の表情に工夫があるもの。
- 実際にあるささいなことを少しひねってあり、時代を反映しているもの。
- パターンにはないもので、読者すべてに意味が分かり、爆笑とまではいかななくてもなるほどと思えるもの。
- 4コマにありったけの情報と笑いを分かりやすく、短く詰め込み、かつ意外性があるもの。

1 新聞活用のねらい

ある期間、ひとつの話題で新聞記事を追っていくと、そこに社会の動きが見えてくる。一過性のイベント的な話題ではなく、連鎖的な話題を集めると、当然のことながらそこに自分なりのとらえ方が形づくられ、情報と呼べる形になってくる。すると情報を発信したくなるのは自明のことである。

第1学年時の構成力、第2学年時の話題比較で養った目を土台に、自ら4コマまんがで情報発信を試みさせる。

2 学習指導要領との関連

- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)の工……自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。
- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のイ……書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。
- 第2学年及び第3学年「A話すこと・聞くこと」の(1)のア…広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。

3 学習計画と指導のポイント

- ①ミニ囲み記事のある期間切り抜き、そのなかから共通する話題をひとつに絞り込んでいく
 - 各新聞が話題提供として毎日紹介しているミニ囲み記事に着目させ、その切り抜きを集めさせる。 **資料①～④**
 - ある期間の収集を通じて、多く取りあげられている事物、人物に注目させる。
 - いくつか見つかるであろう4コマまんがに適した話題のなかからひとつに絞らせる。
 - その注目度の高さは何に由来するのかをグループで話し合わせる。
- ②絞り込んだ話題を4コマまんがとして脚色していく
 - どのように4コマまんがにしていくかを話し合わせる。例えば、ストーリー作成、ふきだし作成、絵作成などの分担を決めるといったことも含めて具体的に話し合わせる。
 - 手分けして4コマまんがを仕上げさせる。
 - 相談しながら作製作業を進めさせ、決してひとりに負担を押しつけないよう注意を促す。 **資料⑤**
- ③できあがった作品を振り返り、解説を加える
 - 何をテーマに、どのような構成で、どのような「オチ」で表現したのかを簡潔に説明させる。
 - 4コマまんがを作製する際の苦楽をそれぞれまとめて記録させる。
 - それぞれの作品を印刷し、批評会を行う。

4 評価

- 4コマまんがとして取りあげる話題を適切に選ぶことができたか。
- 4コマまんがを思いどおりに作製することができたか。
- 4コマまんがを作製するための苦楽を整理し、記述することができたか。

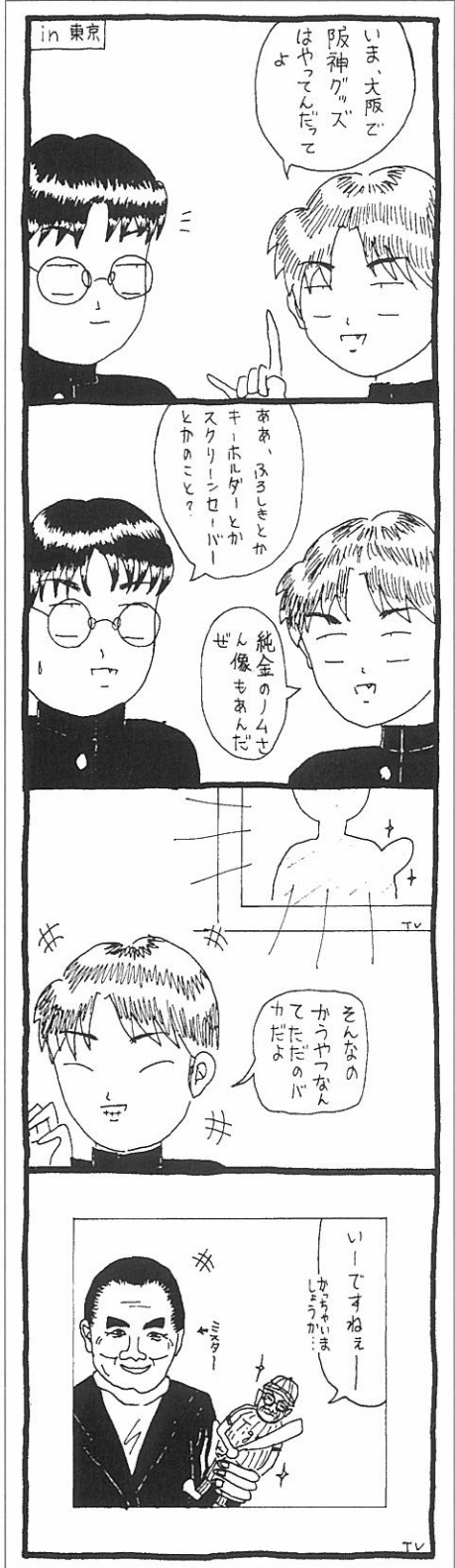
総合的な学習の時間

ワンポイントアドバイス



▶「総合的な学習の時間」の発表方法として、新聞形式にまとめさせることが多くなるであろう。まとめるひとつの方法として、4コマまんがを取り入れることもあるだろう。4コマまんがでまとめる場合、単におもしろおかしくで終わらせるのではなく、4コマまんががもつ、正面切ってではないが、それゆえにかえって厳しい批判の目のようなものにまで質を高められれば、新聞紙面そのものが引き締まったものになるであろう。

資料⑤ 生徒の作品



▼京都府岩滝町の織物業者あり、町営アハウス岩滝(0772・46・350)で販売、「応援してもいいのは、不況にあえぐ丹後ちりめんも同じ。一発ヒットをねらう」

真。同じ丹後半島にある野村克也監督の母校・峰山高校が春の甲子園で使った応援ふるしきがヒント。

▼顧客席で広げて振る、腰に巻く、肩かけ、ひざかけ、マフラー代わりと使い方はさまざま。レヨン100%で、「たたらポテットにも入る」と業者。

資料① 朝日新聞 1999.7.8付朝刊



▼大阪の夏を彩る阪神タイガース。少々疲れ気味だが、関連グッズは大盛況。今度はオフィスのパソコンを狙えと、スクリーンローパー写真が約1億2000万円を売り上げたという。

阪神百貨店や近畿一円のCDショップで8月1日から売り出す。

▼野村監督、新庄選手、応援編など7種のコミカルなストーリー。フツフツ文句を言うノムさんを見て選手が発奮する「意識改革」がテーマ。百貨店の広報マンが考案したが、仕事の手を

資料② 読売新聞 1999.7.26付朝刊



▼大阪・梅田の阪神百貨店が売り出した100万円「純金ラムゼン像」を予約していた熱烈な阪神ファンの落語家、月亭八方さんが28日受け取りに「写真、懸尾公治写す。」



▼タイガースが首位に立ったのを祝い、6月10日に売り出され、既に予約は27個に上る。受注してから生産にか

資料③ 毎日新聞 1999.7.29付朝刊



▼「なにわ」のシンボル連天 関西(大阪市浪速区)が、プロ野球監督も候補に挙がったが、「最下位を争う低送球で直営売店で新たに売り出しに。「来年は強くなつた」写真。巨人の長嶋盛徳、大阪の景気自体を押し替、松井、高橋西選手と西「上げて」と期待している。

武の松坂投手がモデル。▼景気低迷で、売店の上半期の売上額は前年同期の約四分の三に。「何か売れるお土産」と、終盤まで盛り上がるプロ野球入

資料④ 朝日新聞 1999.9.25付朝刊